

月刊フットマークは東京都墨田区にある水泳・介護・健康インナーメーカー「フットマーク」が月1回発行するニュースレターです。すべてのお客様へ向けて楽しく役に立つ情報を掲載した紙面づくりを心がけています。

FOOTMARK 図鑑 No.7

水泳帽子 アニマルくん

「アニマルくん」は、動物の顔がついた水泳帽子です。子供用のサイズと大人用のサイズがあり、子供用のサイズの人気もさながら、大人用のサイズもスイミングクラブのコーチを中心に愛されています。動物の顔をひとつひとつ縫い合わせ、赤ちゃんのための工夫がされた優しさ溢れる水泳帽子です。

水泳用品

帽子

新規市場



実は大人用も
全てこども用のサイズかと思いきや、スイミングクラブのコーチ用に大人用サイズも。現在は、こども用サイズが14種類で、大人用サイズが7種類。

「コアラ」「ネコ」「パンダ」の柄をはじめにつくった。



誰もやっていないことに挑戦

メッシュ素材の水泳帽子(ダッシュ)を開発し10年経過した1987年、水泳帽子をつくる他のメーカーも現れ始めます。その中で「ベビースイミングの赤ちゃんをあやす」という誰も手をつけていない市場を見つけました。立体的な動物を帽子にあしらうには、顔のパーツはひとつひとつ縫う必要がありました。コストや市場の小ささを考えると、きっと大きな利益にはなりません。それに関わらず、「お客様の役に立ちたい」という一心で商品を開発。ニッチな市場に本気で挑戦したからこそ、35年たった今も愛される商品になったのだと思います。

こだわりの立体感

帽子の生地に動物の顔を直接プリントすることもできましたが、動物の立体感にこだわって開発されました。直接のプリントでは帽子を被ったときに生地が伸び、動物の顔が認識しにくくなってしまいます。そのため、生地を縫い合わせ刺繍をして立体的な動物にしました。

表情が違う？

「うさぎさんが笑っていない...」とお客様から教えていただいたことがありました。通常のうさぎさんは笑顔なので、レアものです。それも、職人さんがひとつひとつ縫っているからこそ起きてしまったできごとでした。たまにユニークな表情をした動物がいるかもしれません。

生 誕 日

1987年

名前の由来

動物柄をモチーフにした水泳帽子なので、そのまま「アニマルくん」とつけた。

ヒ ン ト

ベビースイミングが盛んな時期。ベビーハーネスの試着テストで訪問したクラブのコーチが赤ちゃんをあやすことに苦労しているところを目撃。

アピール

水泳レッスン中に不安がる赤ちゃんに安心感をあたえ、レッスンをスムーズに行うことができる。子供同士が被っても、コーチが被っても良い。

その後追加されたラインナップ



今月の語り部

私が水泳事業の営業をやっていた頃開発したのが「アニマルくん」。量産するために工場と協力したり、種類を増やす中で、ウサギの耳をピンと立たせるためにどんな素材を使うか悩んだり、ひとつひとつに本気で取り組んでいました。フットマークの年賀状にもたびたび登場する「アニマルくん」ですが、近年にはイノシシの帽子を作ったこともありました。

代表取締役社長 三瓶 芳



※2022年
年賀状より

NEWS

新学期、新生活に役立つ新アイテム

各部門より新商品が続々と発売しています。一部をご紹介します。気になる商品はお気軽にお問い合わせください。

バッグの中をすっきり整理。アレンジ自在!

3WAYバッグインバッグ



取り出しやすい深めのサイズ 最小限の荷物でサッと移動 両手がふさがっても安心

介護スタッフさんのためにつくった「3WAYバッグインバッグ」。バッグインの役割だけでなく、単独でもコンパクトなバッグとして活躍する機能を備えています。介護現場だけでなく幼稚園の先生などからもお問い合わせいただいています。プライベート使いにもオススメです。



リコーダー用カバー

音楽の授業や部活動での飛沫対策アイテムを開発しています。特にリコーダー用カバーは、新学期になり「何かしらの対策を行わなければ」とお悩みを持ったお客様からお問い合わせが急上昇。



リコーダー用カバー オンラインショップ



部活動フェイスカバー 一般スポーツ・接触系スポーツ

▲部活動フェイスカバー(一般スポーツ) オンラインショップ

FOOTMARKな人々

中島 淳一
nakajima junichi

- 入社年 2020年
- 部門 DX推進室
- 出身地 東京都大田区
- 趣味 特技：チャーハン4合を一振りで作る 趣味：植木鉢で食べる作物を育てる
- 私の健康法 酒飲んで大声で歌う



私のおすすめ商品

COOLISH SUMMER MASK2 シロ L

異常な汗かきなため、通常のマスクだとまだらになったり破れたりして嫌でしたが、濡らして使うことが前提のこの商品は救世主です!



植木鉢で育てて楽しい 植物ベスト3

- スイカ**
剪定や受粉が面倒ですが、うまくいくと意外とおいしいものができます。
- アボカド**
食べたあとの種を埋めておくと生えてきます。冬にへたりますが、夏になるとまた元気になります。
- パイナップル**
買って来たパイナップルのヘタ?部分をねじ切って植えると葉っぱが茂りますが、東京では冬越えできませんでした。



三瓶 芳 (さんべ かおる)
 フットマーク代表取締役社長
 1958年1月27日 島根県生まれ
 1980年 駒澤大学卒業 2012年 社長就任

健康のために昼休憩は近所の堅川～隅田川まで散策しています。今の時期はつつじが見事です。そして少し前から気になっていたのは堅川に「ボラ」が大量に生息していること。ボラは成長が早く稚魚がいつのまにか30cmくらいに。そんな小さな気づきも楽しいウォーキング。でも昼食は相変わらず菓子パンが止められない私です。

何としても水泳授業に間に合わせる！

新入学の時期を終えて学校水泳用品の販売時期を迎え、いよいよわが社のシーズンがはじまります。すでに私が入社した40年以上前から4月～7月の最繁忙期を社内ではシーズンと呼んでいたと記憶しています。

この時期には通常期の5倍から10倍の受注が集中します。そのための様々な準備して臨みますが毎年のように新たな問題が発生し、その対応に悪戦苦闘するのが常です。入社して数年はこのシーズンが本当につらくて苦痛でした。

当時のシーズンはとにかく体力勝負です。大量の大型コンテナが入荷して一日2回すべて人手だけ入荷処理をするとへとへとです。その後は大量受注対応です。また生産と販売のバランスが取れることは本当に稀で担当する商品がヒットすると、計画の2倍～3倍の受注が殺到。嬉しい悲鳴ですが、お客様にはお詫びしながら何とか1枚でも早くお届けする方法を模索する毎日でした。

当時私の担当していた水泳帽子ダッシュ型は3万枚の販売計画が1年で30万枚に増加してこともありました。今考えてもどうやって生産できたのか不思議です。

予期せぬ事態でも社内のみならずお客様も工場も資材会社さんみんなが一体となって対応していたのだと思います。どんなことがあっても水泳の授業に間に合わせる。これを使命に全力を尽くす日々でした。シーズンといえば後に語り継がれるエピソードであったり、社内のヒーローが生まれるのもこの時期ならではの成長へつなげる道に変わってきました。さあ今年もシーズンを迎えます。どんなシーズンにできるか。どんなヒーローを迎えることになるのか。精一杯取り組んでいきたいと思っています。

フットマーク株式会社

代表取締役社長 三瓶 芳



こだわりが詰まった両国の小さなデパート

&ryogoku

コーヒーなど

フットマークより
6分

「デパート」をコンセプトとしたお店が、緑一丁目の交差点近くにあります。コーヒー・ジェラート・焼き菓子・観葉植物・ブーケ...まさに「デパート」。今回は「ジェラートアッフォガート」をいただきました。徳之島（鹿児島県）のザラメと北海道牛乳を使用したジェラートに、こだわりのエスプレッソを目の前にかけているのを見ていたら、なんだか幸せな気分になりました。ひんやりしたジェラートはこれからの時期にぴったりです。

Instagramには素敵な写真が掲載されていますので、是非ご覧ください♪



東京都墨田区両国 4丁目 30-9
 TEL : 03-4361-8729
 営業時間 : 10:00am ~ 6:00pm

新型コロナウイルス感染拡大により、営業時間・定休日が通常と異なる場合がございます。ご来店時は事前に店舗にご確認ください。



Instagram



フットマークできごとファイル

フットマークと水泳資格表

「水泳資格表」は水泳選手が自分の泳法と泳ぐ距離によって、今現在の「泳力」の位置を知ることができて、次のめざすタイムによって上位のクラスに上がれるかがわかる一覧表になっています。

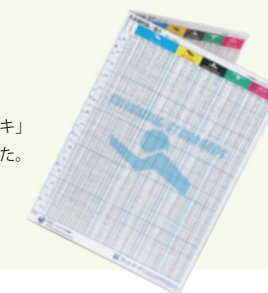
フットマークは1969年日本で初めての学童用水泳帽子を開発、1972年（昭和47年）財団法人日本水泳連盟認定品（後に推薦品）になりました。その後、日本水泳連盟との関係を深め水泳の振興、競技力向上に役立つアイデアを提案できるようになり「水泳資格表」が誕生しました。

当時、日本水泳連盟では3人の先生方によって水泳の競技力向上を目的に種目別、年齢別のデータが蓄積されていました。そこに磯部成文（現：会長）を加えていただき、このデータを水泳関係者が身近に使える道具（物差し）としてデザインして、材質、サイズなどを決定、商品化が図られました。いちばん見やすくなったのが4つの「泳法マーク」、

ピクトグラムです。ピクトグラムは1964年の東京オリンピックで実用化されていますが、水泳の4泳法を一目でわかるようにしたのはスポーツ界でははじめてのようです。

「水泳資格表」はジュニア選手からオリンピック選手まで、また水泳の指導者、水泳関係者、選手の家族などにとって、水着や水泳帽などとはまた違った、独特の必需品と言えます。それはフットマークにとっても同じで、それまでの商品とはひと味もふた味も違う取り組みでした。水泳振興、競技力向上のために「水泳資格表」の企画、製作にかかわることができたフットマークの喜びははかり知れません。

水泳資格表はスイミングスタンダードとも呼ばれ、のちに水泳界では「シタジキ」という呼称で親しまれるようになりました。



本好きがすすめる1冊



風のマジム

作者：原田マハ

出版：講談社

発行年：2014年

こんな人に読んで欲しい

夢はあるけど踏み出せない人
 お酒が好きな人

今回の担当



広報室
飯田

原田マハさんが書く本は、アートに関連したもの、旅や人への想いに溢れたものがあります。大概の本は涙なしには読めません。この小説は、派遣社員だった女性（まじむ）が南大東島でサトウキビを使ったラム酒造りに挑戦するお話です。文章に沖縄の風を感じ、夢に挑戦する姿に惹かれ、自分も何か頑張ろうと思えます。読んだ後には、ラム酒が飲みたくなること間違いなしです。

編集後記

久しぶりに行動制限のないGWは外出された方も多かったのではないのでしょうか。私はGWを7連休にして十分に堪能し、シーズンに向けて気合を入れ直したところです。今回は、初めての企画「本好きがすすめる1冊」というコーナーを作成しました。いかがでしたか？初回は私が担当させていただきましたが、社内にはまだまだ本好きがいるはず。社員がどんな本を読んでいるのかご紹介できればと思います。（飯田）

フットマーク株式会社

東京都墨田区緑 2-7-12
 広報室

webmaster@footmark.co.jp